

2022年度第3回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 秋吉台特別

秋吉台（あきよしだい）は、山口県西部にある美祢市の中・東部に広がるカルスト台地。狭義には台地中央を貫流する厚東川以東の国定公園地区を指す。日本最大級のカルスト台地として知られ、古生物学・構造地質学上でも重要視されている。特に日本一の規模を誇る鍾乳洞は観光地としても有名。

○ 彦島特別

彦島（ひこしま）は、山口県下関市と福岡県北九州市を隔てる関門海峡に浮かぶ本州最南西端部の島。文治元年（1185）の源平最後の合戦（壇ノ浦の戦い）における平家最後の砦として知られている。そのため現在もなお清盛塚を初めとした平家ゆかりの史跡が多い。かつては「引島」とも呼ばれていた。

○ 九州スポーツ杯

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社より九州地区を中心に発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 国東特別

国東（くにさき）は、大分県の北東部に広がる半島、また同半島東部の市。平安時代から鎌倉時代にかけて多くの社寺が作られ、石仏や板碑などの仏教遺跡が点在している。また、「くにさき銀たち」と呼ばれる太刀魚が多く水揚げされることでも有名。

○ 西部スポニチ賞

スポニチは、スポーツニッポン新聞社より発行されているスポーツ紙スポーツニッポンの略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ サマースプリントシリーズCBC賞（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第2戦。

本競走は、昭和40年に創設された重賞競走。第1回は砂1,800mの競走として実施されたが、幾度かの変更を経て、56年に現行の芝1,200mとなった。その後も短距離競走路線の改善に伴い、実施時期や競走条件が変更され、現在はGⅢのハンデキャップ戦として実施されている。

CBCテレビは、名古屋市中区に本社を置く放送局でJNN（TBS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ マカオジョッキークラブトロフィー

マカオジョッキークラブは、1987年にマカオ政府の許可を得て設立された競馬統括団体。同クラブは、廃止となったマカオトロティングクラブのタイパ競馬場を購入し、1989年からサラブレッドによる競馬を始めた。当初はダートコースのみで実施されていたが、90年には芝コースとナイター用の設備も整い、現在の体制が出来上がった。

○ インディアトロフィー

インドは、アジア南部、インド半島の大部分を占める共和国。首都ニューデリー。同国における競馬は、1777年に英軍将校がアラブ種に騎乗して行われたことが始まりとされており、現在は6つのターフクラブがそれぞれの地域における競馬を統括している。日本との交流は、1968年に種牡馬としてハクチカラ号を寄贈したことに始まり、第1回ジャパンカップには同国からオウンオピニオン号が出走している。

○ マレーシアカップ

マレーシアは、東南アジア、マレー半島南部とボルネオ島北部を占める連邦制の国。首都クアラルンプール。同国では、19世紀後半にシンガポールと一体で競馬が行われるようになった。その後、1864年にペナン、1886年にペラ、1896年にセランゴールの3つのターフクラブが設立された。

<第4日>

○ タイランドカップ

タイは、インドシナ半島中央部を占める王国。首都バンコク。現在、同国における競馬はロイヤルバンコクスポーツクラブによって実施されている。

○ フィリピントロフィー

フィリピンは、東南アジア、フィリピン諸島を占める共和国。首都マニラ。同国における競馬は、1867年にマニラジョッキークラブが結成されたことに始まる。1900年、同クラブはマニラにサンラザロ競馬場を建設。また、1937年には現在のフィリピン・レーシングクラブが結成され、サンタアナパーク競馬場を設立した。現在は、いずれの競馬開催も政府から分離独立したフィリピンレーシングコミッションにより統括されている。

○ プロキオンステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に創設された重賞競走。当初は4月中旬に実施されていたが、12年より6月中旬、18年より7月上旬に移設され、現在に至っている。令和3年に引き続き、小倉競馬場において1,700mで実施される。

プロキオン（Procyon）は、こいぬ座のアルファ星で、シリウス、ベテルギウスとともに「冬の大三角」を形作る恒星。

○ シンガポールターフクラブ賞

シンガポールターフクラブは、1842年に設立された競馬統括団体。1933年にブキティマに競馬場を開場した後、99年に克蘭ジに移転し現在に至っている。

<第5日>

○ 都井岬特別

都井岬（といみさき）は、宮崎県南端、日向灘と志布志湾とを分ける岬。日南海岸国定公園に属し、国の天然記念物であり現存する日本在来馬のひとつである御崎馬が生息している。

○ 糸島特別

糸島（いとしま）は、福岡県北西端部に位置する市。平成22年1月、前原市と糸島郡志摩町、二丈町が合併して誕生した。主な産業は農業で、稲作のほかミカン・イチゴ・野菜・花卉栽培が盛ん。さらに沿岸漁業を中心とする漁業も盛んで、ノリの養殖などが行われている。また、対外交流の要地であったことから遺跡が多く残されており、平原遺跡からの出土品は国宝に指定されている。

○ 西部日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。九州地方では、福岡市に所在する日刊スポーツ新聞西日本西部本社が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 対馬特別

対馬（つしま）は、九州の北方にある島。上島と下島からなり、長崎県に属する。古くから朝鮮半島や中国との通路にあたる要地であった。国の天然記念物であるツシマヤマネコが生息している。

○ 戸畑特別

戸畑（とばた）は、北九州市にある区。毎年7月に催される「戸畑祇園大山笠」が有名。同行事は国の重要無形民俗文化財に指定されており、福岡県夏の三大祭りのひとつとして「提灯山」の愛称で広く親しまれている。

○ 博多ステークス

博多（はかた）は、福岡県福岡市の区。また、福岡市街地の別称。古来、博多は太宰府の外港として、大陸文化輸入の玄関口として栄えた。「博多どんたく」、「博多祇園山笠」などの祭りが有名。

なお、同区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるエクセル博多がある。

<第7日>

○ 大牟田特別

大牟田（おおむた）は、福岡県南西端の市。大牟田市から熊本県荒尾市にまたがって広がる三池炭鉱を中心に石炭化学工業コンビナート群が形成され、有数の化学工業都市として発展を遂げた。同炭鉱が閉山してからは、エコタウンやテクノパークなどに参加する企業の誘致にも力を入れている。

○ 高千穂特別

高千穂（たかちほ）は、宮崎県北端部にある町。五ヶ瀬川にかかる峡谷「高千穂峡」が有名で、日本の滝 100 選に選定された名瀑「真名井の滝」がある。また、宮崎県と鹿児島県の境に位置する高千穂峰は天孫降臨伝説の地として知られ、山頂には天逆鉾（あまのさかほこ）がある。ミヤマキリシマ、マイヅルソウなどが自生し、山麓には多くの温泉がある。

○ ウインズ佐世保開設 20 周年記念佐世保ステークス

本競走は、ウインズ佐世保開設 20 周年を記念して実施される。

佐世保（させぼ）は、長崎県北部、北松浦半島南岸の市。オランダの街並みを再現したテーマパーク「ハウステンボス」が有名で、年間を通して多くの観光客で賑わっている。

なお、同テーマパーク内には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ佐世保がある。

<第8日>

○ 雲仙特別

雲仙（うんぜん）は、長崎県島原半島西部の市。平成 17 年に周辺 7 町が対等合併し、雲仙市となった。また、同半島の中央部にある火山群の総称であり、特別名勝に指定されている。雲仙天草国立公園は火山景観を主体とした雲仙地域と、大小 120 余の島々の海洋景観を主体とした天草地域が指定されている。

○ 岩国特別

岩国（いわくに）は、山口県最東部の市。瀬戸内海に面しており、パルプ・紡績・石油化学工業等が立地する工業地帯である一方、北西部は山地の自然に富んでおり、周南市に源流を発して市内を横断する錦川は清流を誇っている。また、岩国藩の城下町としての名残があり、その中でも錦川をまたぐ錦帯橋は有名な建築物である。

○ サマーマイルシリーズトヨタ賞中京記念（GⅢ）

全4戦で実施されるサマーマイルシリーズの第2戦。

本競走は、昭和28年に行われた『中京開設記念』を翌年に改称して創設された重賞競走。令和3年に引き続き、小倉競馬場において1,800mで実施される。

トヨタ自動車株式会社は、愛知県豊田市に本社を置く自動車メーカー。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。